

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1 審議会名	第3回上田市行財政改革推進委員会
2 日時	平成28年1月7日 午後3時30分から午後5時10分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 第三委員会室
4 出席者	石巻一男委員、岩木功委員、越田明子委員、小林哲哉委員、斎藤重一郎委員、佐藤和雄委員、竹内充江委員、竹村尚美委員、手塚たつ子委員、増澤延男委員、丸山理英子委員、宮下省二委員 山浦健太郎委員、山浦美幸委員 欠席：中村彰委員
5 市側出席者	宮川総務部長、西澤行政改革推進係長、田中公共施設マネジメント係長、松澤行政改革推進室主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年1月12日

協 議 事 項 等

1 開 会 (西澤行政改革推進係長)

2 あいさつ (宮川総務部長)

いよいよ真田丸イヤーの始まりである。経済効果が表れるよう市民の皆様と一緒にしっかり取り組んでいきたい。

本日は、第三次上田市行政改革大綱の素案を提示させていただきため、御審議、御意見をいただきたい。また、上田市公共施設マネジメント基本方針についても、素案の概要について内容を説明させていただき、御審議をお願いしたい。

昨年公共施設白書を策定し、この結果を基に、人口減少、財政が厳しくなることを踏まえ、施設の総量の抑制、既存施設は長寿命化や統廃合、機能の複合化、施設のネットワーク化を図る必要がある。

行革大綱も、行政需要が増える中、仕事のやり方を変え、多様な人材を確保しながら様々な行政需要に対応できる体制を構築し、受益と負担の考えから市民の皆さんにも負担をしていただくものはしていただく、地域で出来ることは地域のみなさんで取り組んでもらうという地域内分権の考え方も形にし、これらの要素を踏まえて素案を作成したので、窮屈な日程で申し訳ありませんが御審議のほどよろしくをお願いしたい。

3 あいさつ (増沢会長)

本日の委員会では、第三次上田市行財政改革大綱の素案と上田市公共施設マネジメントの基本方針の概要について御審議いただくこととなっている。行革大綱の素案については、前回委員会での概要に関する審議内容を踏まえて事務局より事前に資料が送られているため、お気づきの点等御意見をいただきたい。

また、公共施設マネジメントの基本方針も行財政改革の課題である公共施設の在り方の見直しにも関係することから、昨年市長より諮問をいただいている。こちらも公共施設の現状や抱えている課題を踏まえて、今後の維持管理や利活用の取り組むための基本方針のため、大変重要な案件であると考えている。我々市民も大変関心があることから、委員の皆さんも活発な御意見をお出しいただきたい。

4 協議事項

(1) 第三次上田市行財政改革大綱について

- ・資料に沿い、西澤行政改革推進係長から第三次上田市行財政改革大綱の素案について説明
- ・以降、協議

(委員) 前回委員会の審議内容を反映していただき感謝する。P1・2の表中の句読点の

表現方法の検討、P5「あらゆる主体」と出てくる。P18で大綱の基本方針にも「多様な主体」「主体的」と出てくる。他の表現方法があるかどうか。

同じP18「連携・協力」とあり、協力的なのか協働なのか。大綱の位置づけも文章が長いのでわかりやすくした方がよい。

P19「係る見直し」の「係る」の使い方。また、「まとめます」という言い方もよいかどうか。「仕組みづくり」も組織づくりなのか。一般でも使うが、「しっかり見極め」という言い回しに違和感がある。

P20「ふるさと納税をはじめとして」は改革にふさわしくない小さな事例であり、他に何か事例がないか。「固定資産台帳の作成による」は「より」ではないか。最後の「集約化を含む再配置を検討する」は、「適正な配置を検討する」ではないか。

最後の「受益と負担の適正化」で負担の前に「公平な」を入れたらどうか。小中学校の体育館・グラウンドを利用した場合、受益者負担で電灯代を支払うが、公民館を利用の際、冷暖房を使っても無料。これが公平な負担になっているか日ごろ感じている。

P21で「効果的かつ効率的」と「効率的かつ効果的」と逆になって同じような表現になっているが他に何かないか。「職員が全体の奉仕者」はかなり昔の表現。例えばセブン&アイホールディングスの鈴木さんのように「変化に対応」という言葉を使ったらどうか。

P22の図で、市議会の他に市民の代表がある。行財政改革推進委員会も市民の代表である。この市民の代表が必要かどうか検討してほしい。

(事務局) 修正できる部分は修正し、表現方法等については持ち帰って検討したい。

(委員) 目次の項目と本文の表現にいくつか違いがあるため、確認し、どちらかに統一した方がよい。P5の合計特殊出生率と定住自立圏の注釈は順番を入換えた方がよい。

P15のPFIが「パブリックファイナンス」とあるが「プライベートファイナンス」である。

(事務局) 文言の修正、目次と本文の整合を図るようにしたい。

(委員) P5ウに「若者世代の結婚・出産」があり、オに「若者の結婚・子育て」があり、確かに若者の結婚を促進して出生率を上げることも大切だが、身の回りを見ると40・50代の独身男性が多い。本人の話を聞くと結婚しない主義ではないが、出会いがあれば結婚したい人達。出会いが無い。そういった部分を考えて若者の結婚だけでよいのか。その辺も少し考えて言葉を考えていただきたい。

国が女性登用というものを活発にしており、県も女性副知事が2代続いている。女性活躍推進法が制定され、4月から施行となることを考えると、女性が輝く社会というのが大切。P15の「人材育成と求められる職員像」に入ってくるのではないかと。上田市としても管理職に女性職員もいて意識していると思うが、こうしたことも盛り込めるかどうか検討していただきたい。

(事務局) 文章の中でどのように表現できるか検討したい。

(2) 上田市公共施設マネジメント基本方針概要について

- ・資料に沿い、田中公共施設マネジメント係長から説明
- ・以降、協議

(委員) P14の「民間でできることは」という形で進めなければならない原則は分かるが、直営の基準、何だったら直営にするのかということをはっきりと示しないと、民間がしたことがあるものはすべて民間が実施するのかと誤解される。ツタヤ図書館のように実験的に広まっている、財政が苦しくてどこも何とかしようとチャレンジしている時代で、上田市はどうしたいのか、直営は何なら守るのか明らかにしないと、とても不安な表記に感じるので考えていただきたい。市民に理解されるポイントではないか。

- (事務局) 基準というものも必要かと感じているので、検討させていただきたい。
- (委員) かなりたくさんの公共施設があるが、これらは全て耐震診断をするのか。
- (事務局) 公共施設白書で全ての施設を維持・活用していくというのは困難であるということが分かっており、施設の減少、統合・再配置していく中で、今後も必要性がある、使っていかなければならない施設は耐震診断し、長寿命化し大切に使うという考えである。まずは施設の総量を削減することを大前提としてマネジメントしていくという提案をさせていただいている。ただ、「譲渡」「廃止」「解体」等の表現方法についてはもう少し検討の余地があると感じている。
- また、今後もスポーツ施設の整備のあり方のように新しい施設の整備も計画しなければならない。新たな公共施設の整備を計画する場合には、現有施設の廃止他、施設の保有総量を抑制するというような前提条件を表記しないと、新しい施設も整備しなければならないことも確かにあるため、三原則の部分も検討したい。
- (委員) 耐震化の費用対効果という部分も難しい。
- (事務局) 行政側と利用者・地域の皆様との考え方も違う。そのためのマネジメント方針という原則を立てさせてもらえればと考えている。
- (委員) 本庁舎の耐震も36億円以上かかるとなると建て替えた方が良いという意見もある。その辺もどう判断するか基準が難しい。基本的には総量縮減となるだろう。
- (事務局) 総量縮減や多機能化・集約化を図るようになるのではないかと。
- (委員) 長崎市でも施設の統廃合を進めている。市町村合併によって施設が余分にあるということも含めて25%施設を削減したいと地域の皆さんに説明をしている。P3の目的で、市町村合併という文言がない。予定数量より施設が多いと私は思うので、目的に入れた方が良い。
- P14の「譲渡」「廃止」等の文言は、この位のことを書いておかないと伝わらない。原則としてはこういうものだと思わせないと。これはこれでよいのではないかと。例外は当然あるが。
- P15の「国県をはじめとする他機関」は大切。他にあれば別に上田で作らなくてもいいとなる施設も出てくると思う。今までは、他で作っているから上田でも、となっていた。人口が増えている時代はいいが、人口が減ってくれば先に大金を使って作ってくれば、ありがとうございますとそこを使った方がという時代になるのではないかと。
- (事務局) 合併前の旧市町村はそれぞれがフルスペックだった。表記について検討したい。また、P13で、三原則でよいか、コンパクトシティという考え方、地域に生活拠点を維持・確保しなければならない。小さな拠点の確保とこれらをネットワークでつなげる必要性等も先ほどの市町村合併の件を踏まえて検討したい。
- また、行革大綱もそうだが、広域市町村との役割分担、連携という部分についてもそのような要素も加えて改めて検討したい。
- (会長) 今のお話は重要である。デリケートな部分でもあるため難しいが、分かりやすく今のうちにアピールした方がいいかもしれない。いずれそうなる訳だから。
- (事務局) 機能は廃止するのではなく、コンパクトの中に多機能の施設で、ネットワークで繋ぐというような表現を検討したい。
- (会長) ネットワークも公共交通機関とか具体的に表記したらどうか。

5 次回会議日程について

第4回会議：平成28年1月25日（月曜日）午後3時30分から

第5回会議：平成28年2月5日（金曜日）午後1時30分から

6 閉会